



## やんばるの中の高江

沖縄本島北部の豊かな森に囲まれた地域をやんばる(山原)といいます。やんばるの森には地球上でここだけにしかないヤンバルクイチ、ログチゲラなどの固有種や絶滅危惧種が数多く生息しています。日本全体の0.1%にも満たないやんばるに1000種以上の高等植物や5000種以上の動物が暮らしています。国際自然保護連合(IUCN)が保護を求めるほど、世界的に貴重な生物多様性の宝庫です。その価値を多くの人々が認め、世界自然遺産候補リストに挙がっています。しかし米軍基地の存在が大きな障壁となっています。

## 東村高江と米軍基地

高江は人口約150名の集落です。美しい山と川に囲まれ子供達ものびのびと育っています。しかしこの緑豊かな高江と総面積約7,800ヘクタールの米軍北部訓練場(ジャングル戦闘訓練センター)は隣り合わせにあります。北部訓練場はジャングルでの戦闘訓練を目的に1957年に使用が始まり、その3年後に開始されたベトナム戦争でのゲリラ訓練が行われました。北部訓練場には22ヶ所のヘリパッドがあり、居民は爆音や墜落の危険にさらされています。そこで新たに高江集落をまるでぐるりと取り囲むようにして、2007年から6ヶ所のヘリパッドの建設が始まりました。完成した4のヘリパッドの中心点は県道から150m、一番近い民家まで約500mしか離れていません。

## ヘリパッドとは？ ～ 実はオスプレイが使うからオスプレイパッド～

ヘリパッドとはヘリコプター着陸帯のことです。新たな着陸帯はやんばるの森を切り開き直径75mの円形に造成して作られるオスプレイパッドでした。やんばる全体で見たら小さな点、かもしれませんが、軍事ヘリが飛び交うことにより、点が線に、線が面になり、豊かな生態系と住民の暮らしに与えるダメージは計り知れません。

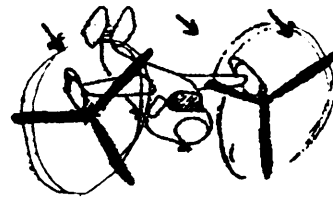
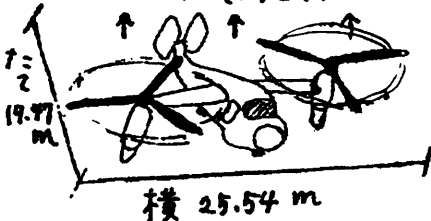
## なぜ高江にヘリパッドが建設されることになったのか？ SACO合意とは？

1996年に「基地の整理縮小」をかねて設置されたのが「沖縄に関する特別行動委員会(SACO)」です。日米両政府が最終報告に合意し、「SACO合意」が発表されました。でもこれは「沖縄の基地負担軽減」といながら、実際には「基地の先鋭化と日米安保強化」を目的としていました。このSACO合意で、北部訓練場の半分を返還する条件は、返還予定地にあるヘリパッドを高江周辺に移設することでした。合意の背景には新機種オスプレイの配備がありました。「移設」の名目を借りたオスプレイパッドの新設だったのです。海からの上陸作戦訓練のための水域と土地(嘉川河口)の提供も決められていました。

### オスプレイとは？

日本政府はオスプレイの配備を隠してきましたが、2012年県民の強い反対の中、沖縄に配備されました。(現在24機、将来的に100機配備予定!?)

① プロペラが上向き  
垂直に離着陸する(ヘリコプター)



② 飛びながらプロペラを  
前に出し(固定翼モード)

オスプレイはこれまでのCH46(輸送ヘリ)とは違い、回転翼(プロペラ)の角度を変えて垂直離着陸ができる航空機です。飛行距離も積載量も大きくなり、空中給油の

機能もあります。攻撃性を持たせる開発も進んでいます。回転翼が左右についているのでバランスを取るのが難しく、事故が多発しています。離陸時の高熱の排気(最高217℃)による火災、騒音、低周波による人体への景観影響など危険ではあります。



### 沖縄の水が危ない!! ～水源地でオスプレイ?!～

北部訓練場には5つのダムが点在し、沖縄本島生活用水の60%を賄う貴重な水源地です。2007年には、そのダムに投棄された弾薬類が1万発以上発見されました。更に、ベトナム戦争時北部訓練場において米軍が枯葉剤を散布していたことも明らかになりました。又、2014年に宜野座村にあるキャンプハンセン中部訓練場にヘリが墜落、現場である大川ダムは有害物質汚染の可能性により、1年間取水停止になりました。米軍ヘリの機体に放射性物質が使われている事も気がかりです。北部訓練場でもヘリパッド建設によりダム周辺でのジャングル戦闘訓練が激化し更なるダム汚染につながる事が心配されます。

## 高江は今

高江区は2度にわたりヘリパッド反対の決議をし、関係機関に出向き計画の見直しを要請してきました。しかし2007年7月2日防衛局は強硬に工事を開始しました。2014年3月頃に集落から最も近いN4地区のヘリパッドが完成してしまいました。そして条件である基地の返還もされないまま2015年1月30日米軍への先行提供が閣議決定されオスプレイの飛行訓練が本格的に始まりました。本国では民間地の上は飛ばないのに、高江では昼夜を問わず住宅地や小中学校の上を低空飛行しています。新聞報道によると、2014年から座り込み排除を目的にN1ゲート前の県道路側帯の米軍占有化が検討されているようです。高江には日本中、世界中からかけつけてくみの方々がいます。けれどまだまだ人数が足りません。一緒に座り込みしませんか？

沖縄だけの問題じゃない!!

豊かな自然に囲まれた高江は戦争できる国へ向かう日本の最前線となってしまいました。何年たっても、声をあげても、政治的に解決されないのはなぜでしょう？日本国憲法より日米安全保障条約が上にあるからだと思います。このことは沖縄だけの問題ではありません。ここから日本全体で起こりうることです。ひりひりがこのことに真険に向き合っ、大きな民意を作り上げる時ではないでしょうか？全ては私たちの税金で行われるのです。(米軍への思いやり予算一日5億円！しかも日本政府は2018年までにオスプレイを17機購入し自衛隊に配備するようです。日米共同訓練も想定されています。購入金額3600億円(1機211億)は2015年度の社会保障削減分3900億円に匹敵!) 自らのとて子どもたちの命を守るために、皆さんぜひできることをやりましょう!!

### 連絡先

ヘリパッドいらない住民の会

住所 〒905-1201 沖縄県国頭郡東村高江上幸新川 85-2

fax 0980-51-2688 ケイタイ電話 090-9789-6396 (8:00~17:00)

eメール info@nohelipadtakee.org

ブログ 「やんばる東村高江の現状」 <http://takee.ti-da.net/>

カンパ申込口座 郵便局 01780-1-65612

申込先名義 ブロックリーの森を守る会

※ 私たちの活動はカンパでまかなわれています。どうぞ宜しくお願いします。

※ 申込先名義は会の旧称です。



### さいごにアメリカ先住民のことは

インディアンやネイティブアメリカンと呼ばれるアメリカ先住民は、「何か決めるとき7代先のことを考えて決める」といいます。自分たちが生きている今だけでなく、ずい先の未来の子どもたちのことを考えて行動するのである。私たちの行動や選択のひつひつが未来の暮らしをかたち作っています。子どもたちは私たちから何を受け継ぐのでしょうか……。自然の恵みいっぱい、平和な日々であってほしいと願わずにはられません。

# キチカネとアメとムチ

ヘリパッド反対を公約に就任した地元東村の村長は、「オスプレイ配備は反対だがヘリパッド建設は容認」と発言しています。村長の発言の背景には何があるのでしょうか。沖縄は経済的に優遇されているから基地を受け入れるべきだ、という意見もあります。しかし実際には北部振興策などで潤うのは地元経済ではなく、本土企業にお金が入る仕組みになっているのです。そして振興策で作られた(ムダな)道路や建物の維持管理で、地元市町村の財政は苦くなる一方です。日本の国土の0.6%の沖縄に、在日米軍施設面積の74%もあるにもかかわらず平均所得は全国最低。そして失業率は全国一です。名護市では稲嶺市政が新基地建設反対を表明したために前市政まであった再編交付金がストップしましたが、むしろこれをきっかけに市財政の健全化に向かっています。基地がなくなってもいい！今や基地は「沖縄経済発展の最大の阻害要因」負担軽減？ ヒキツキがはます。

防衛庁省や沖縄防衛局にヘリパッド工事の中止を求める要請をしに行くたびに必ず返ってくるのが「過半の返還は沖縄県の負担軽減になるので工事は進めます」という言葉です。土地は返ってきて、空は返ってきません。オスプレイやヘリコプターは超低空でおかまひなしに飛び交います。そして美しく豊かなやんばるの森やそこに住む生き物たちが犠牲になるのです。使っていない土地を返還して、高江の集落のまわりに

ヘリパッドを集約させるということはまさに訓練の強化になり生活そのものが脅かされる事になります。私たちはこれ以上「負担軽減」という言葉にだまされません！

## 高江 MAP



1999年  
米軍ヘリコプター  
墜落事故現場  
展望台から  
100年以上前に  
高江の人たちが  
上陸した入江が  
見えます。感動的！  
respect!!

# 前代未聞！国が座り込み住民を訴えた



国の言いなりにやらなければ裁判して排除？  
 全国でも同じ弾圧が起きちゃうの？  
 言いたいことも言えなくなったら大変!!



## 間違えだらけの仮処分～子どもまで～

2008年11月、国は座り込みが工事車両を妨害しているとして、通行妨害禁止の仮処分を那覇地裁に申し立てました。(※仮処分→急ぎの事案に仮に決定を下すための民事の法手続)。座り込みには県内外から多くの人々が参加していたにもかかわらず、ほとんど高江の住民ばかりが15名訴えられました。中には一度も現場にいたことがない子どもまで含まれていました(後日、子どものみ却下)。国が裁判所に提出した書類は人権侵害が多いなど、基本的な人物・車両・行為すらまともに特定できないずさんなものでした。

## SLAPP訴訟～市民運動を萎縮させる目的の訴訟

このように大きな力を持った国や企業が、力の弱い市民に対して、反対運動や表現活動を萎縮させる目的で起こす民事訴訟のことを『SLAPP(スラップ)』と呼びます。勝ち負けではなく、裁判に巻きこむことで市民に負担をかける、いじめ、嫌がらせが狙いです。司法の悪用とされ、海外では禁止されているところも多く訴え自体が却下されますが、日本では今のところ防ぐことができません。国が住民に対してSLAPPを掛けた、高江が全国で初めてのケースとなりました。

## 判決は99%住民側の勝利。しかし...

裁判の中で国側は様々なことと「妨害」だと訴えました。座り込みテントを張ること、ブログで発信すること、取材を受けること、さらには沖縄防衛局に申し入れに行くことまでも。権力を笠に、動画や写真を含む大量の「証拠」資料が提出されました。当然ながらこれらの訴えの99%は退けられました。しかし、2012年3月、那覇地裁は1名についてごく一部の行為を「妨害」と認定しました。工事車両の前で両手を高く上げたことや、「座ろう」と周囲に呼びかけたことなど、他の人と変わらない些細な行動です。納得がいきません。控訴しましたが、2014年6月最高裁は上告を棄却し、判決が確定してしまいました。

## SLAPPが傷つけたもの

判決までの5年半という長い期間、訴えられた住民の一人ひとりが、多くの負担を強いられ、ひどく傷つけられたことは大きな事実として残りました。国にとって手段は卑劣で許しがたいものです。また、訴訟自体を取り消させることは叶わず、高江のSLAPPは悪しき前例となってしまいました。

しかし、弁護団を初めとして多くの人に支えられました。

高江SLAPP訴訟は、ほかの市民運動の場でも起こります。寄り添い支え合うことで対抗しよう。

この裁判は、国が国民に対して、司法の本来の役割をせずに、脅威の口を封じるための手段として利用されました。この不条理が、全国民に高江の現状を知らせるきっかけとなり、仮処分申し立てから7年、各地からの座り込み参加という、大きな力となって返ってきました。脅しは負けない。これから「おかしいことはおかしい」「嫌なものは嫌だ」と声をあげ続けよう。



# 座り込みガイド

わたしたちは、ヘリパッド建設に反対し、座り込みによって抗議しています。

## 高江への行き方(バス)

1日3便!  
73番線  
(片道約1時間)  
1,200円

高江発	±日
7:05	7:15
15:25	15:40
18:45	18:55

名護バスターミナル発	±日
5:50	5:55
14:25	14:20
17:15	17:30

最新情報は  
0980-52-2504  
名護バスターミナルで  
確認を!!

## 高江への行き方(車)

/welcome!!

那覇から約3時間



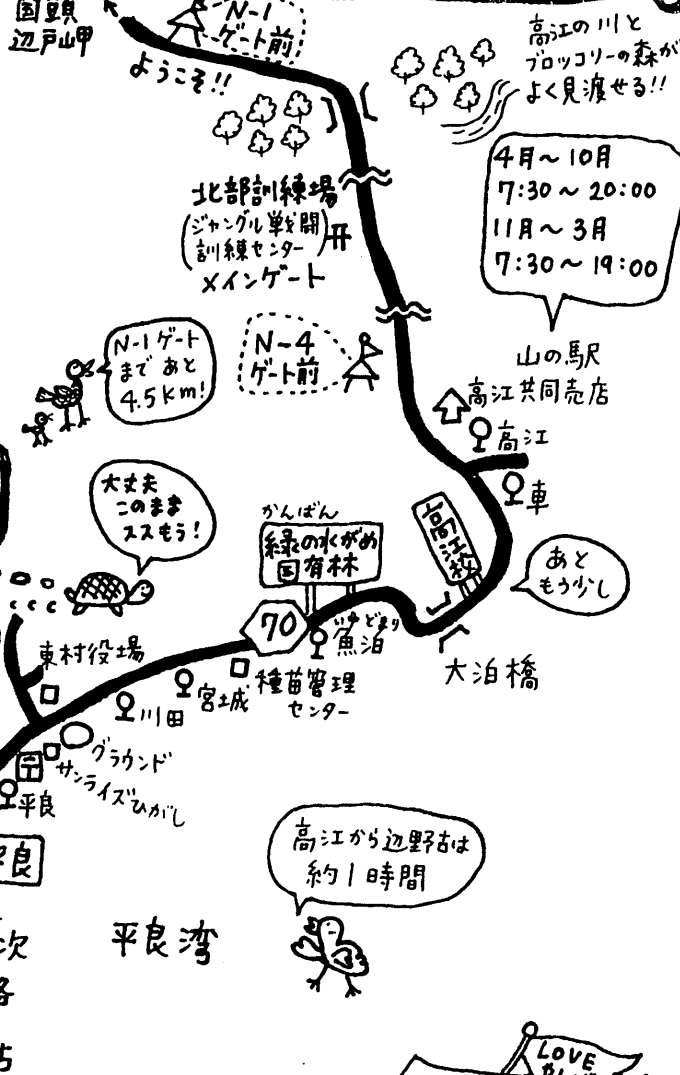
那覇→高速許田IC→R58北上  
→大宜味村塩屋湾手前を右折  
→⑨→トンネル2→橋→R331  
→平良を左折→北上  
→高江

## 服装と持ちもの

- 食事・飲み物(なるべく水筒を利用よう!)
- 持参で、途中に売店・コンビニもありますか? ゴミゼロを呼びかけます。
- 水は必要です。
- 帽子、日よけ、虫よけ、雨具、手ぬぐい etc...
- どんな天気、状況でも対応できる準備があると安心ですね!
- ※貴重品は自己管理で
- ※携帯電話の電波は弱いです

## 座り込みガイドライン

1. 私たちは非暴力です  
コトバの暴力を含め誰もキズつけたくありません
2. 自分の意思で座り込みに参加しています  
誰かに何かを強いられることはありません  
自分の体調やきもちを大切に
3. いっでも愛とユ-モアを!
4. 人物、車(工事業者さん含む)を撮影する時は許可をとってから



## 高江に着いたら

高江共同売店「山の馬」に着いたら⑦0をそのまま6km北上します。N-1ゲ-ト前にテントがあるので、そこで受付します。その日の重さ、状況、どこの地点で座り込みするか等、その日の当番から聞きます。  
☆わからないことなど何でも聞いて下さいね☆  
※バスで来る方は、前もってテント携帯に連絡を下さい。「山の馬」まで迎えに行きます。  
テント携帯 090-9789-6396 (8:00~17:00)

